

「聖なる主の御名をたたえ」

(詩篇63:3)

聖なる主の御名をたたえ

ほめ歌をささげます

ちから強いイエスの御名を

たからかに歌います

あなたの恵みは いのちにもまさるゆえ

私のくちびるは あなたを賛美します

聖なる主の御名をたたえ

ほめ歌 ささげます

「たたえますとこしえに」

(詩篇92:8)

たたえます

あなたは とこしえに

誉(ほま)れとさんび うけるかた

あがめます

みまえに立ち たえず

心から礼拝(れいはい)します

新聖歌426番 「世(よ)には良き友も」

- 1 世には良き友も数あれど
キリストに勝る良き友はなし 罪人のかしら
われさえも 友と呼びたもう 愛の深さよ
* ああ わがため いのちをも
捨てましし友は 主なる君(きみ)のみ
- 2 世の中の友は 冷(ひ)えてゆき 暖かき言葉
いつか消ゆとも 変わらぬ愛もて 主はわれに
喜びを与え つねにはぐくむ * (くりかえし)
- 3 試みの時も 病む日にも 死ぬる間際(まぎわ)にも
そばにいまして 力ある腕を われに伸べ
優しくのたもう 「いと安かれ」と * (くりかえし)

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌18番 「おお御神(みかみ)をほめまつれ」

1 おお御神を ほめまつれ 尽きぬいのち あたえんと
ひとりごをも おしみなく よびとのため くださったもう

* ほめよほめよ 神の愛を 歌え歌え 主のみわざを
そのみわざに現われし 父なる神の恵みを

2 主は贖(あがな)い なしとげて 御名に頼る 人々の
罪はいかに 深くとも 赦しあたえ 助けたもう

* (くりかえし)

3 げにとうとき み救いよ いとくすしき み教えよ
たぐいもなき喜びは 再び主に 見(まみ)ゆる日

* (くりかえし)

アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらの日用(にちよう)の糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの
おお みかみに

ときわに たえせず
みさかえあれ
みさかえあれ
アーメン